

第 61 回日本形成外科学会総会・学術集会
第 1 回キャリア支援委員会企画

特別パネルディスカッション 2

【「LIFE WORK BALANCE：現在・過去・未来」】

- ・第 1 回は、女性形成外科医で開業し活躍している 3 名の「Life Work Balance」の報告
座長：館 正弘（東北大学形成外科）（キャリア支援委員会：専任理事）
山下理絵（湘南藤沢形成外科クリニック R）（キャリア支援委員会：委員長）
演者：森 文子：クリニックモリ
佐藤 薫：かおるクリニック
奥村千香：おくむらクリニック

特別パネルディスカッション 3

【アフタヌーンバブルス（泡）セミナー】

- 座長：山下理絵（湘南藤沢形成外科クリニック R）
森島容子（大垣市民病院形成外科）
- ・ Woman plastic surgeon の現状および第 1 回 SCF テーブルディスカッションの報告
キャリア支援委員会委員長：湘南藤沢形成外科クリニック R 山下理絵
- ・ 招待講演：ライフ・ワーク・バランス現在過去未来
東北医科薬科大学（医学部）生理学教授 河合佳子
- ・ テーブルディスカッション

共催：株式会社ジェイメック
PRSSJapan 株式会社
後援：キャリア支援委員会



テーブルディスカッションの報告

育児出産など下級医師の意見

- ・学会の託児所：就学した子供も受け入れし、人数制限はしない方がよい
- ・入局しないでほしいと、また入局するなら結婚はすると言われた
- ・女性だからできる仕事があることを理解してほしい
- ・今後、子育てに加え、介護の問題も出てくる。男性も育児、介護を考えてほしい
- ・施設により産後復職の仕方の違い、他はどのようにしているか
- ・定時で帰る医師と残業する医師との軋轢
- ・サポートしてくれる環境がほしい
- ・育児、夫の協力が得られない。どうしたら得られるか
- ・専門医になり結婚したばかり、収入少ないためアルバイトに行かなくてはならない
- ・復職の仕方、フルタイムか週 2-3 日の非常勤、各自の優先順位、目標を設定し決定できるとよい。その際、仕事量に見合った給与体系であってほしいが、現状は難しい。
- ・夫も医師であるが協力が得られない

キャリアがある医師、上級医師の意見

- ・病院勤務で、部下が妊娠した場合、他施設はどのように対応しているか
- ・今後の専門性をどのように確立するか？専門医の維持、スペシャリティーをどうしたらよいか
- ・専門医の必要性、キャリアアップを希望しない場合も必要か
- ・e-ラーニングを導入してほしい

⇒2019年評議委員会で、託児所およびe-ラーニングの希望は報告した。